

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 徳島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	三好病院	3
-	海部病院	4
徳島市	徳島市民病院	5
三好市	三野病院	6
勝浦町	国保勝浦病院	7
那賀町	那賀町立上那賀病院	8
美波町	国保美波病院	9
海陽町	海南病院	10
つるぎ町	つるぎ町立半田病院	11

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透し未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	41,591 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救急が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	390	70.6	69.4	76.5
療養	-	-	-	-
結核	5	66.2	50.3	27.7
精神	60	30.3	32.2	36.2
感染症	5	49.4	38.7	13.7
計	460	65.0	64.0	70.0
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	10.1	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	719,559	
決算規模(千円)	535,631,500	
標準財政規模(千円)	258,554,954	
財政力指数	0.31200	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	154.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,715,587			
1 経常収益	17,226,131			
(1) 医業収益	14,790,440			
(うち修正医業収益)	14,053,369			
入院収益	10,003,953			
外来収益	3,747,270			
診療収入計	13,751,223			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,039,217			
(うち他会計負担金)	737,071			
(2) 医業外収益	2,435,691			
(うち国・都道府県補助金)	253,215			
(うち他会計補助・負担金)	1,416,435			
(うち長期前受金戻入)	609,698			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,489,456			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,031,883			
2 経常費用	18,031,883			
(1) 医業費用	16,331,456			
職員給与費	8,355,283	56.5	59.4	57.2
材料費	4,053,132	27.4	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,624,352	17.7	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,427,766	9.7	11.8	12.7
減価償却費	1,151,378	7.8	8.7	8.0
経費	2,705,048	18.3	22.1	19.0
(うち委託料)	1,621,902	11.0	11.7	10.0
研究研修費	43,037			
資産減耗費	23,578			
(2) 医業外費用	1,700,427			
(うち支払利息)	256,455	1.7	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-805,752			
純損益	683,704			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.5		103.3	103.2
医業収支比率	90.6		85.5	88.6
修正医業収支比率	86.1		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	11.5		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	83.6		91.9	93.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,698,782
1 固定資産	33,602,222
(1) 有形固定資産	32,122,969
(2) 無形固定資産	7,384
(3) 投資その他の資産	1,471,869
2 流動資産	15,096,560
(1) 現金及び預金	9,832,501
(2) 未収金及び未収収益	5,133,405
(3) 貸倒引当金()	145,058
(4) 貯蔵品	244,224
3 繰延資産	-
負債合計	45,776,478
1 固定負債	33,070,218
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,451,675
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	280,000
(5) その他の長期借入金	185,000
(6) 引当金	4,153,543
(7) リース債務	-
2 流動負債	8,612,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,011,975
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	712,479
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,474,078
(9) 前受金及び前受収益	67,120
3 繰延収益	4,093,546
(1) 長期前受金	16,296,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,202,890
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,922,304
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-4,496,029
(1) 資本剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-5,167,312
負債・資本合計	48,698,782
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,133,010	2,153,506
資本勘定繰入	605,364	661,643
計	2,738,374	2,815,149

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名					
病院名	三好病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	21,511 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 感へ 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	206	56.8	55.2	59.3
療養	-	-	-	-
結核	8	-	42.4	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	99.1	36.6	90.9
計	220	55.9	54.2	58.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	12.7	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	719,559
決算規模(千円)	535,631,500
標準財政規模(千円)	258,554,954
財政力指数	0.31200
経常収支比率(%)	90.9
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 11.8 154.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,192,464			
1 経常収益	5,222,604			
(1) 医業収益	4,241,625			
(うち修正医業収益)	3,873,903			
入院収益	2,791,455			
外来収益	1,012,509			
診療収入計	3,803,964			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	437,661			
(うち他会計負担金)	367,722			
(2) 医業外収益	980,979			
(うち国・都道府県補助金)	68,210			
(うち他会計補助・負担金)	585,836			
(うち長期前受金戻入)	267,552			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	969,860			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,075,211			
2 経常費用	6,075,211			
(1) 医業費用	5,578,754			
職員給与費	2,974,962	70.1	59.4	63.7
材料費	974,139	23.0	26.1	21.0
(うち薬品費)	418,820	9.9	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	553,737	13.1	11.8	10.1
減価償却費	447,559	10.6	8.7	9.7
経費	1,164,952	27.5	22.1	28.9
(うち委託料)	665,470	15.7	11.7	13.6
研究研修費	14,189			
資産減耗費	2,953			
(2) 医業外費用	496,457			
(うち支払利息)	37,226	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-852,607			
純損益	117,253			
累積欠損金	4,711,931			
経常収支比率	86.0		103.3	101.8
医業収支比率	76.0		85.5	80.8
修正医業収支比率	69.4		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	18.3		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	22.5		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	15.4		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	70.3		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,698,782
1 固定資産	33,602,222
(1) 有形固定資産	32,122,969
(2) 無形固定資産	7,384
(3) 投資その他の資産	1,471,869
2 流動資産	15,096,560
(1) 現金及び預金	9,832,501
(2) 未収金及び未収収益	5,133,405
(3) 貸倒引当金()	145,058
(4) 貯蔵品	244,224
3 繰延資産	-
負債合計	45,776,478
1 固定負債	33,070,218
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,451,675
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	280,000
(5) その他の長期借入金	185,000
(6) 引当金	4,153,543
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	8,612,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,011,975
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000
(4) その他の長期借入金	70,000
(5) 引当金	712,479
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,474,078
(9) 前受金及び前受収益	67,120
3 繰延収益	4,093,546
(1) 長期前受金	16,296,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,202,890
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,922,304
1 資本金	7,418,333
2 剰余金	-4,496,029
(1) 資本剰余金	671,283
(2) 利益剰余金	-5,167,312
負債・資本合計	48,698,782
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	947,714	953,558
資本勘定繰入	165,729	180,348
計	1,113,443	1,133,906

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名					
病院名	海部病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	23,052 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	102	47.2	45.6	46.7
療養	-	-	-	-
結核	4	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	120.8	88.2	73.2
計	110	48.2	45.5	46.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	10.2	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	719,559	
決算規模(千円)	535,631,500	
標準財政規模(千円)	258,554,954	
財政力指数	0.31200	
経常収支比率(%)	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	154.2

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	3,729,114				
1 経常収益	2,658,079				
(1) 医業収益	2,055,496				
(うち修正医業収益)	1,862,786				
入院収益	1,147,734				
外来収益	674,991				
診療収入計	1,822,725				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	232,771				
(うち他会計負担金)	192,710				
(2) 医業外収益	602,583				
(うち国・都道府県補助金)	39,666				
(うち他会計補助・負担金)	324,511				
(うち長期前受金戻入)	215,711				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	1,071,035				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	3,035,761				
2 経常費用	3,035,761				
(1) 医業費用	2,782,910				
職員給与費	1,277,639	62.2	59.4	67.0	
材料費	499,830	24.3	26.1	18.2	
(うち薬品費)	300,059	14.6	14.0	8.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	199,416	9.7	11.8	9.4	
減価償却費	388,024	18.9	8.7	10.2	
経費	608,300	29.6	22.1	28.8	
(うち委託料)	270,576	13.2	11.7	13.2	
研究研修費	7,885				
資産減耗費	1,232				
(2) 医業外費用	252,851				
(うち支払利息)	28,591	1.4	1.0	1.1	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-377,682				
純損益	693,353				
累積欠損金	2,490,902				
経常収支比率	87.6		103.3	104.5	
医業収支比率	73.9		85.5	80.1	
修正医業収支比率	66.9		82.8	76.0	
他会計繰入金対経常収益比率	19.5		11.1	15.0	
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		14.1	20.8	
他会計繰入金対総収益比率	13.9		11.0	15.1	
実質収益対経常費用比率	70.5		91.9	88.8	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	48,698,782	
1 固定資産	33,602,222	
(1) 有形固定資産	32,122,969	
(2) 無形固定資産	7,384	
(3) 投資その他の資産	1,471,869	
2 流動資産	15,096,560	
(1) 現金及び預金	9,832,501	
(2) 未収金及び未収収益	5,133,405	
(3) 貸倒引当金()	145,058	
(4) 貯蔵品	244,224	
3 繰延資産	-	
負債合計	45,776,478	
1 固定負債	33,070,218	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	28,451,675	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	280,000	
(5) その他の長期借入金	185,000	
(6) 引当金	4,153,543	
(7) 一時的借入金	-	
2 流動負債	8,612,714	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,011,975	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	170,000	
(4) その他の長期借入金	70,000	
(5) 引当金	712,479	
(6) リリース債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	5,474,078	
(9) 前受金及び前受収益	67,120	
3 繰延収益	4,093,546	
(1) 長期前受金	16,296,436	
(2) 長期前受金収益化累計額()	12,202,890	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	2,922,304	
1 資本金	7,418,333	
2 剰余金	-4,496,029	
(1) 資本剰余金	671,283	
(2) 利益剰余金	-5,167,312	
負債・資本合計	48,698,782	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考	当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	506,599	517,221
資本勘定繰入	202,324	215,209
計	708,923	732,430

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名		徳島市			
病院名		徳島市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,240 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	38	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	335	69.8	69.4	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	335	69.8	69.4	74.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.0	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	252,391	
決算規模(千円)	110,004,708	
標準財政規模(千円)	56,839,669	
財政力指数	0.79	
経常収支比率(%)	97.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	38.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,153,018			
1 経常収益	12,119,121			
(1) 医業収益	9,133,029			
(うち修正医業収益)	8,781,425			
入院収益	6,245,059			
外来収益	2,347,307			
診療収入計	8,592,366			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	540,663			
(うち他会計負担金)	351,604			
(2) 医業外収益	2,986,092			
(うち国・都道府県補助金)	1,620,883			
(うち他会計補助・負担金)	648,279			
(うち長期前受金戻入)	653,861			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33,897			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,223,952			
2 経常費用	11,151,801			
(1) 医業費用	10,513,854			
職員給与費	5,343,357	58.5	59.4	59.0
材料費	2,512,425	27.5	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,257,025	13.8	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,253,214	13.7	11.8	11.2
減価償却費	962,698	10.5	8.7	8.6
経費	1,667,473	18.3	22.1	21.3
(うち委託料)	943,307	10.3	11.7	11.6
研究研修費	21,601			
資産減耗費	6,300			
(2) 医業外費用	637,947			
(うち支払利息)	214,393	2.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	72,151			
経常損益	967,320			
純損益	929,066			
累積欠損金	6,742,480			
経常収支比率	108.7		103.3	104.8
医業収支比率	86.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	83.5		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	8.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	99.7		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,232,955
1 固定資産	9,196,374
(1) 有形固定資産	9,196,346
(2) 無形固定資産	28
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	5,036,581
(1) 現金及び預金	3,036,263
(2) 未収金及び未収収益	1,986,059
(3) 貸倒引当金()	27,771
(4) 貯蔵品	41,863
3 繰延資産	-
負債合計	15,150,910
1 固定負債	12,132,038
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,833,807
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,298,231
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,656,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,027,395
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	321,352
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,270,651
(9) 前受金及び前受収益	253
3 繰延収益	361,900
(1) 長期前受金	5,927,485
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,565,585
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-917,955
1 資本金	2,681,502
2 剰余金	-3,599,457
(1) 資本剰余金	3,143,023
(2) 利益剰余金	-6,742,480
負債・資本合計	14,232,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	917,955
資本不足額(繰延収益控除後)()	556,055
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,004,950	999,883
資本勘定繰入	610,572	610,572
計	1,615,522	1,610,455

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	73.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	三好市				
病院名	三野病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,537 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	輸		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	63.3	70.6	75.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	63.3	70.6	75.4
平均在院日数(一般病床のみ)		40.4	40.5	43.0

設立団体の状況		
人口(人)	23,605	
決算規模(千円)	23,980,369	
標準財政規模(千円)	13,248,548	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	92.3	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,007,542			
1 経常収益	994,492			
(1) 医業収益	715,466			
(うち修正医業収益)	698,068			
入院収益	385,193			
外来収益	265,645			
診療収入計	650,838			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,628			
(うち他会計負担金)	17,398			
(2) 医業外収益	279,026			
(うち国・都道府県補助金)	62,552			
(うち他会計補助・負担金)	156,731			
(うち長期前受金戻入)	50,424			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,050			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	964,424			
2 経常費用	963,766			
(1) 医業費用	912,568			
職員給与費	439,951	61.5	59.4	76.5
材料費	135,933	19.0	26.1	14.9
(うち薬品費)	101,508	14.2	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,257	4.6	11.8	6.4
減価償却費	78,760	11.0	8.7	11.5
経費	255,318	35.7	22.1	32.6
(うち委託料)	100,592	14.1	11.7	14.8
研究研修費	329			
資産減耗費	2,277			
(2) 医業外費用	51,198			
(うち支払利息)	13,486	1.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	658			
経常損益	30,726			
純損益	43,118			
累積欠損金	128,909			
経常収支比率	103.2		103.3	101.5
医業収支比率	78.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	76.5		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	17.5		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	17.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	85.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,117,961
1 固定資産	828,221
(1) 有形固定資産	798,892
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	29,329
2 流動資産	289,740
(1) 現金及び預金	208,726
(2) 未収金及び未収収益	74,823
(3) 貸倒引当金()	913
(4) 貯蔵品	7,104
3 繰延資産	-
負債合計	1,154,854
1 固定負債	794,608
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	794,608
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	151,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	72,910
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	36,497
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	42,061
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	208,769
(1) 長期前受金	901,886
(2) 長期前受金収益化累計額()	693,117
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-36,893
1 資本金	91,816
2 剰余金	-128,709
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-128,709
負債・資本合計	1,117,961
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	36,893
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	130,480	174,129
資本勘定繰入	37,512	42,148
計	167,992	216,277

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	勝浦町				
病院名	国保勝浦病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,140 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	61.3	56.2	50.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	61.3	56.2	50.3
平均在院日数(一般病床のみ)		31.6	33.7	34.1

設立団体の状況		
人口(人)	4,837	
決算規模(千円)	4,006,322	
標準財政規模(千円)	2,552,457	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	85.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	781,346			
1 経常収益	729,176			
(1) 医業収益	511,626			
(うち修正医業収益)	511,626			
入院収益	289,243			
外来収益	162,236			
診療収入計	451,479			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	60,147			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	217,550			
(うち国・都道府県補助金)	13,095			
(うち他会計補助・負担金)	140,648			
(うち長期前受金戻入)	62,367			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	52,170			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	843,384			
2 経常費用	843,384			
(1) 医業費用	811,837			
職員給与費	427,719	83.6	59.4	76.5
材料費	49,689	9.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	34,630	6.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,962	2.9	11.8	6.4
減価償却費	11,262	2.2	8.7	11.5
経費	172,019	33.6	22.1	32.6
(うち委託料)	94,355	18.4	11.7	14.8
研究研修費	424			
資産減耗費	150,724			
(2) 医業外費用	31,547			
(うち支払利息)	873	0.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	-114,208			
純損益	-62,038			
累積欠損金	-			
経常収支比率	86.5		103.3	101.5
医業収支比率	63.0		85.5	73.2
修正医業収支比率	63.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.5		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	18.0		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	69.8		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,410,413
1 固定資産	2,324,963
(1) 有形固定資産	2,324,716
(2) 無形固定資産	247
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,085,450
(1) 現金及び預金	975,307
(2) 未収金及び未収収益	71,560
(3) 貸倒引当金()	402
(4) 貯蔵品	5,485
3 繰延資産	-
負債合計	2,020,561
1 固定負債	1,707,962
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,506,468
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	201,494
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	87,423
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,381
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,467
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	44,575
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	225,176
(1) 長期前受金	319,594
(2) 長期前受金収益化累計額()	94,418
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,389,852
1 資本金	1,270,999
2 剰余金	118,853
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	118,853
負債・資本合計	3,410,413
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	138,842	140,648
資本勘定繰入	12,878	13,954
計	151,720	154,602

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	那賀町				
病院名	那賀町立上那賀病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,432 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	30	76.6	52.7	52.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	76.6	52.7	52.9
平均在院日数(一般病床のみ)		32.1	17.9	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	7,367	
決算規模(千円)	11,998,797	
標準財政規模(千円)	6,339,431	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	606,887			
1 経常収益	606,887			
(1) 医業収益	326,382			
(うち修正医業収益)	323,382			
入院収益	179,884			
外来収益	111,245			
診療収入計	291,129			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	35,253			
(うち他会計負担金)	3,000			
(2) 医業外収益	280,505			
(うち国・都道府県補助金)	1,888			
(うち他会計補助・負担金)	263,587			
(うち長期前受金戻入)	3,554			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	577,768			
2 経常費用	577,768			
(1) 医業費用	572,562			
職員給与費	410,923	125.9	59.4	87.7
材料費	38,585	11.8	26.1	13.6
(うち薬品費)	18,816	5.8	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,769	6.1	11.8	5.9
減価償却費	38,579	11.8	8.7	12.7
経費	83,733	25.7	22.1	45.1
(うち委託料)	49,856	15.3	11.7	21.3
研究研修費	29			
資産減耗費	713			
(2) 医業外費用	5,206			
(うち支払利息)	5,206	1.6	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	29,119			
純損失	29,119			
累積欠損金	1,186,757			
経常収支比率	105.0		103.3	101.7
医業収支比率	57.0		85.5	62.5
修正医業収支比率	56.5		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	43.9		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	81.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	43.9		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	58.9		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	691,930
1 固定資産	290,260
(1) 有形固定資産	290,260
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	401,670
(1) 現金及び預金	90,503
(2) 未収金及び未収収益	287,610
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	11,257
3 繰延資産	-
負債合計	247,038
1 固定負債	104,020
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	104,020
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	104,377
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,393
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,408
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	28,576
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	38,641
(1) 長期前受金	184,957
(2) 長期前受金収益化累計額()	146,316
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	444,892
1 資本金	1,631,649
2 剰余金	-1,186,757
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,186,757
負債・資本合計	691,930
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	73,604	266,587
資本勘定繰入	38,462	59,809
計	112,066	326,396

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	363.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	美波町				
病院名	国保美波病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,531 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	49.0	45.7	50.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	49.0	45.7	50.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.9	19.0	23.9

設立団体の状況		
人口(人)	6,222	
決算規模(千円)	6,588,711	
標準財政規模(千円)	3,833,145	
財政力指数	0.16	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	19.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	782,010			
1 経常収益	778,110			
(1) 医業収益	461,539			
(うち修正医業収益)	461,539			
入院収益	258,807			
外来収益	183,466			
診療収入計	442,273			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	19,266			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	316,571			
(うち国・都道府県補助金)	2,823			
(うち他会計補助・負担金)	278,269			
(うち長期前受金戻入)	25,274			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,900			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	790,632			
2 経常費用	790,632			
(1) 医業費用	755,581			
職員給与費	466,473	101.1	59.4	76.5
材料費	104,137	22.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	79,072	17.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,112	4.1	11.8	6.4
減価償却費	77,060	16.7	8.7	11.5
経費	104,323	22.6	22.1	32.6
(うち委託料)	70,656	15.3	11.7	14.8
研究研修費	213			
資産減耗費	3,375			
(2) 医業外費用	35,051			
(うち支払利息)	4,251	0.9	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-12,522			
純損益	-8,622			
累積欠損金	426,974			
経常収支比率	98.4		103.3	101.5
医業収支比率	61.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	61.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	60.3		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	35.6		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	63.2		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,436,237
1 固定資産	2,101,178
(1) 有形固定資産	2,101,178
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	335,059
(1) 現金及び預金	182,452
(2) 未収金及び未収収益	151,403
(3) 貸倒引当金()	353
(4) 貯蔵品	1,557
3 繰延資産	-
負債合計	1,750,479
1 固定負債	869,519
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	869,519
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	113,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,814
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,938
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	29,067
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	767,141
(1) 長期前受金	935,826
(2) 長期前受金収益化累計額()	168,685
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	685,758
1 資本金	1,103,057
2 剰余金	-417,299
(1) 資本剰余金	9,675
(2) 利益剰余金	-426,974
負債・資本合計	2,436,237
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,269	278,269
資本勘定繰入	54,016	54,016
計	212,285	332,285

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	海陽町				
病院名	海南病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,366 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 災 輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	45	42.2	44.9	42.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	42.2	44.9	42.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.0	20.2	18.4

設立団体の状況		
人口(人)	8,358	
決算規模(千円)	8,309,995	
標準財政規模(千円)	4,892,276	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	84.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	529,469			
1 経常収益	529,469			
(1) 医業収益	313,194			
(うち修正医業収益)	313,194			
入院収益	190,415			
外来収益	92,303			
診療収入計	282,718			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	30,476			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	216,275			
(うち国・都道府県補助金)	3,478			
(うち他会計補助・負担金)	191,000			
(うち長期前受金戻入)	13,048			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	572,674			
2 経常費用	572,674			
(1) 医業費用	554,873			
職員給与費	336,276	107.4	59.4	87.7
材料費	32,756	10.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	19,331	6.2	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,471	2.7	11.8	5.9
減価償却費	56,885	18.2	8.7	12.7
経費	126,914	40.5	22.1	45.1
(うち委託料)	61,556	19.7	11.7	21.3
研究研修費	1,011			
資産減耗費	1,031			
(2) 医業外費用	17,801			
(うち支払利息)	4,196	1.3	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益				
経常				
純				
損	-43,205			
益	-43,205			
累積欠損金	693,551			
経常収支比率	92.5		103.3	101.7
医業収支比率	56.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	56.4		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	36.1		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	61.0		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	36.1		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	59.1		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,035,857
1 固定資産	944,089
(1) 有形固定資産	943,031
(2) 無形固定資産	1,058
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	91,768
(1) 現金及び預金	36,272
(2) 未収金及び未収収益	54,584
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	912
3 繰延資産	-
負債合計	557,591
1 固定負債	309,890
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	309,890
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	65,444
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	39,083
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,805
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,556
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	182,257
(1) 長期前受金	364,639
(2) 長期前受金収益化累計額()	182,382
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	478,266
1 資本金	1,140,108
2 剰余金	-661,842
(1) 資本剰余金	31,709
(2) 利益剰余金	-693,551
負債・資本合計	1,035,857
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	189,244	191,000
資本勘定繰入	25,917	46,758
計	215,161	237,758

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	221.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				徳島県	
市町村・組合名	つるぎ町				
病院名	つるぎ町立半田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,311 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	12	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	120	52.5	53.0	63.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	52.5	53.0	63.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.5	14.2	17.7

設立団体の状況		
人口(人)	7,715	
決算規模(千円)	8,183,530	
標準財政規模(千円)	5,206,144	
財政力指数	0.18	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.2
	将来負担比率(%)	1.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,941,536			
1 経常収益	2,937,795			
(1) 医業収益	1,999,516			
(うち修正医業収益)	1,867,618			
入院収益	875,259			
外来収益	896,106			
診療収入計	1,771,365			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	228,151			
(うち他会計負担金)	131,898			
(2) 医業外収益	938,279			
(うち国・都道府県補助金)	640,624			
(うち他会計補助・負担金)	173,887			
(うち長期前受金戻入)	94,768			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,741			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,516,583			
2 経常費用	2,514,314			
(1) 医業費用	2,412,696			
職員給与費	1,419,649	71.0	59.4	67.0
材料費	306,530	15.3	26.1	18.2
(うち薬品費)	146,708	7.3	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	149,795	7.5	11.8	9.4
減価償却費	196,894	9.8	8.7	10.2
経費	480,972	24.1	22.1	28.8
(うち委託料)	168,347	8.4	11.7	13.2
研究研修費	5,352			
資産減耗費	3,299			
(2) 医業外費用	101,618			
(うち支払利息)	23,156	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	2,269			
損益	423,481			
純損益	424,953			
累積欠損金	-			
経常収支比率	116.8		103.3	104.5
医業収支比率	82.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	104.7		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,543,314
1 固定資産	3,992,420
(1) 有形固定資産	3,964,928
(2) 無形固定資産	122
(3) 投資その他の資産	27,370
2 流動資産	1,550,894
(1) 現金及び預金	966,220
(2) 未収金及び未収収益	551,120
(3) 貸倒引当金()	549
(4) 貯蔵品	34,103
3 繰延資産	-
負債合計	2,137,449
1 固定負債	1,048,071
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,047,743
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	328
2 流動負債	441,829
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	197,129
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	99,757
(6) リ一ス債務	1,274
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	143,669
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	647,549
(1) 長期前受金	2,230,032
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,582,483
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,405,865
1 資本金	1,592,338
2 剰余金	1,813,527
(1) 資本剰余金	1,871
(2) 利益剰余金	1,811,656
負債・資本合計	5,543,314
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	280,327	305,785
資本勘定繰入	147,000	16,215
計	427,327	322,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。